

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

企業理念

すべての人のクオリティ オブ ライフに向きあい、患者のQOL向上に役立つ医療サービスを提供

連結売上高
3,000億円

営業利益
240億円

② 中長期の経営戦略

1. 薬局事業の強化

在宅・施設調剤の戦略化、地域連携薬局認定取得、DX推進によるオンライン専門薬局展開

3. 製薬事業の成長

第一三共エスファグループ化によるAGラインナップ拡充、薬局事業の知見活用による市場シェア拡大

2. BPO事業の拡大

MR派遣数増加、CRO新規顧客開拓、紹介派遣生産性向上、産業医・看護師事業強化

4. グループ統合

2025年4月、第一三共エスファ株式会社の追加取得により株式保有割合を80%へ

③ 対処すべき課題

① 医療サービスの質向上

- ・ 薬局の機能分化への対応と専門性向上教育の推進
- ・ 地域医療の安定化と在宅・施設調剤の充実
- ・ 患者に寄り添う医療実現への注力

② 生産性向上と効率化

- ・ DX推進による薬局業務の生産性向上
- ・ コストのゼロベース見直し実施
- ・ 各事業のコスト削減と構造改革

③ サステナビリティ推進

- ・ 環境負荷低減と全社的なSDGs理解促進
- ・ ステークホルダーへの社会的・経済的価値創造
- ・ 事業活動の見える化と進捗管理

面接で使えるポイント

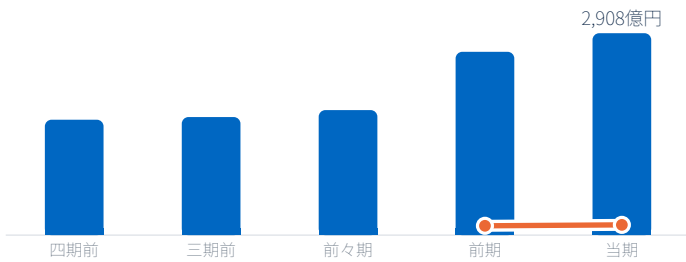
- ・ 患者のQOL向上を掲げ、『あなたの、いちばん近くにある安心』をスローガンに医療サービス提供
- ・ 2025年4月、第一三共エスファ株式会社の追加取得で総合ヘルスケアカンパニーへ躍進
- ・ 連結売上高3,000億円、営業利益240億円を中期目標に『質の向上』『規模の拡大』に取り組む

クオールホールディングス株式会社

小売業 | プライム（内国株式） | 決算期 3月31日 | 連結…

証券コード 3034

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
2,908億円

営業利益率
5.1%

財務健康度
33点 / 100点

将来性 晴れ時々曇り / 就活偏差値 60.3（当サイト算出の参考指標）

平均年収
724万円

小売業内 41位/318社

平均年齢
45.8歳

小売業内 77位/318社

平均勤続
4.2年

小売業内 288位/318社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: モルガン・スタンレーMUFG証券株式会社がクオールホールディ

クオールホールディングス株式会社 企業研究シート

出典: 企業スコープ (kigyو-scope.jp) / 金融庁EDINET 有価証券報告書

将来性・就活偏差値・財務健康度は当サイト算出の参考指標です。

投資・就職の判断は必ず一次情報をご確認ください。 作成日 2026-08-05

